

伊那市の教育理念

- 「はじめに子どもありき」
- ・学ぶ人に発し、学ぶ人に還る
- ・子どもに発し、子どもに還る
- ・自分の学ぶ力に対する自信

伊那市教育大綱

「歴史と文化を未来へつなぐ
心豊かな人を育むまちづくり」

- 一人に確かに届く
- 内と外に開かれた学校

学校教育目標

輝け 長谷っ子
ともに学び ともに育つ

目指す子ども像

ふるさと長谷を愛し、自分で考え、
自分から取り組む長谷の子ども

<合い言葉>

考動力 ~考えよう やってみよう~

長谷小学校の強み

- ・児童同士、児童と職員とのつながり
- ・居心地の良さと安心感
- ・個性が発揮できる環境
- ・特色ある伝統行事（孝行猿、中尾歌舞伎）
- ・学校と地域の良好な関係、ふるさとに支えられた学校

創立時の思い

本校は伊那里小学校と美和小学校の統合校として昭和51年4月1日に創立した。「学校所在地は山間地であっても、教育の及ぼすところが山間地であってはならない。職員は一致団結し長谷の特色を活かす教育を確立するのが使命である。」創立時のこの思いは、49年目を迎えた今も本校の教育の根底をなしている。

目指す学校像

内と外に開かれた学校

みんな（子ども・教職員・保護者・地域）

ふるさと長谷を愛し、自分で考え、自分から取り組む子どもを育成する「みんなで創る」学校

重点目標

輝く 長谷っ子

自己肯定感・自己有用感を育む子ども

ともに学ぶ

<全校研究テーマ>

自ら考え、取り組み、かかわる子ども

ともに育つ

ふるさと長谷に誇りと愛着をもつ子ども

具体的な方策

○自分の居場所がある安心感

- ・温かな学級づくり
- ・目標をもつ、係や委員会等での役割
- 心をつなぐあいさつ
- ・学級指導、児童会企画
- 思いやりを育む異学年交流
- ・児童会企画、スマイルタイム
- 連学年交流、聴く力の育成
- 様々な立場を認め合う教育活動
- ・保小中との交流や連携、道徳教育、なかよし月間、福祉体験、特別支援教育

- * 教師の力量を高める研修
- * 特別支援教育についての理解を深める研修

○主体的・対話的に深く学ぶ

- ・問いがあり、対話が生まれる
- 『子どもが主役』の授業づくり
- ・わからないと言える学級
- ・学び合い、連学年授業
- ・書く、聴く、伝える力の育成
- 探究的に学ぶ
- ・くさぶえの時間、特別活動
- ・思考、判断、表現する力の育成
- 自律して学ぶ
- ・効果的な少人数学習の工夫
- ・タブレットの活用、スキルタイム、AIドリル活用
- * 教師の力量を高める研修
- * 授業改善に向けての研修

○地域を知り、地域に学ぶ

- ・ふるさと学習、地域の方との交流（孝行猿、地域探検、食育など）
- 豊かな心の育成
- ・読書活動の推進
- 人間関係力の育成
- ・温かな学級づくり、伝える力の育成
- 心身の健康維持
- ・体力作り（連学年体育等）外遊びの励行（学級、異学年交流等）
- ・心と身体の月間、学校生活アンケート、相談週間、なんでも相談室
- * 教師の力量を高める研修
- ・自己理解（QU）、自己肯定感を高める言葉かけ、学級づくりについて研修

目指す教師像

- ・子どもへのまなざしは温かく深く確かにし、子どもの良さを認め伸ばす教師
- ・温かな学級を基盤とし、子どもとともに創る授業を実践し、学び続ける教師
- ・良さや違いを生かして力を合わせ、教職員としての自覚をもって子どもと向き合う教師

児童理解
研修・授業改善
信頼・使命感

家庭との連携

- ・あいさつの日常化
- ・家族内の対話、自己肯定感を高める言葉かけ「ありがとう たすかったよ うれしいな」
- ・学校と連携した家庭学習
- ・早寝、早起き、朝ごはん推進、日々の健康管理
- ・家庭読書の推進

地域との連携（地域と共に創る学校）

- ・目的に応じた保護者、地域との連携
- ・長谷学区地域支え合い
- （ゲストティーチャー、学校支援ボランティア、保護者・地域と教職員の信頼関係構築）

地域全体でめざす子どもの姿

ふるさと長谷を愛し、
未来を創る子どもの育成